

第 19 回児童虐待防止対策協議会	資料 4－2
平成 28 年 11 月 10 日	

「公益社団法人日本医師会」提出資料



子ども支援日本医師会宣言

1. 妊娠を望む人たちへの支援に取り組みます。
2. より安全な妊娠・出産に向けての医療環境の充実を図ります。
3. 満足できる妊娠・出産に関する社会環境の整備に取り組みます。
4. 子どもが育ちやすい医療環境の充実を図ります。
5. 子育てに関する社会環境の整備に取り組みます。
6. 学校保健の充実を図ります。
7. 障害児などへの支援に取り組みます。
8. 子どもや子育て支援のための諸施策について政府等関係各方面への働きかけを行います。

公益社団法人 日本医師会
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
TEL 03-3942-8181 (地域医療第三課直通) FAX 03-3946-2684 <http://www.med.or.jp/>

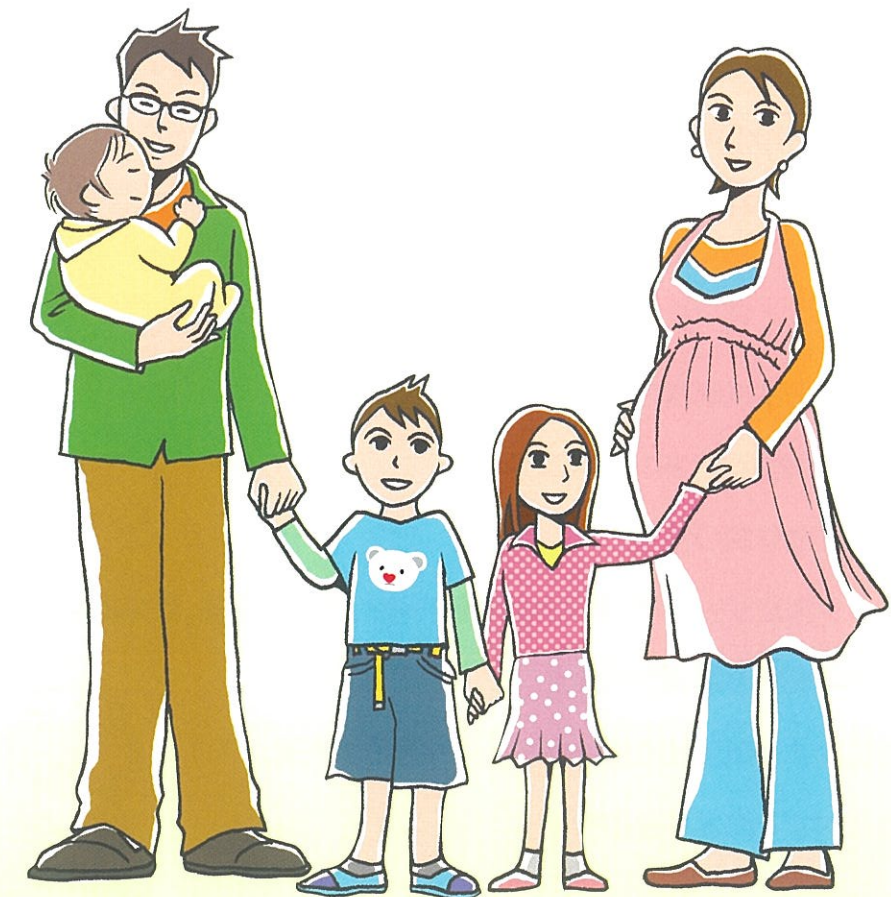
2006年 5月

子ども支援 日本医師会宣言

日医は子ども支援の先頭に立ちます。

わが国では少子化が急速に進行し、その対策はいまや21世紀における最重要課題になっています。日本医師会は、母と子に関する医療・保健・福祉環境の整備等を推進し、次世代を担う子どもたちが心身ともに健やかに育つよう、ここに妊娠・出産・子育てに関する「子ども支援日本医師会宣言」を行います。

2006年5月16日



公益社団法人日本医師会

日本医師会は子ども支援の先頭に立って、
以下の施策に積極的に取り組みます。

1. 妊娠を望む人たちへの支援

- ① 不妊・不育治療の充実
- ② カウンセリング機関の整備

2. より安全な妊娠・出産に向けての医療環境の充実

- ① 妊産婦死亡、周産期死亡減少のための周産期ネットワークの構築
- ② ハイリスク妊娠の選別と対応する地域医療システムの構築
- ③ 分娩施設における周産期医療スタッフの充実
- ④ 母子感染予防対策の充実
- ⑤ 無過失補償制度の確立

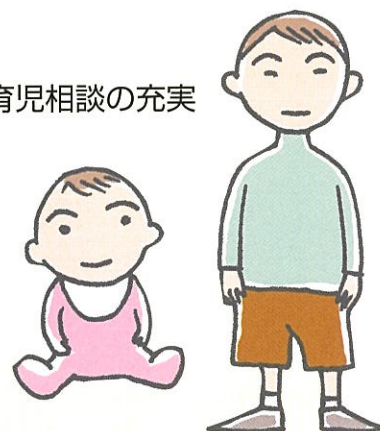


3. 満足できる妊娠・出産に関する社会環境の整備

- ① 出産一時金増額の実現
- ② 若年妊婦と就労妊婦への支援

4. 子どもが育ちやすい医療環境の充実

- ① 乳幼児医療費助成制度の拡充
- ② 15歳までの医療費1割負担の実現
- ③ 小児救急医療体制の整備
- ④ ペリネイタルビジット(周産期小児保健指導)、乳幼児健診、育児相談の充実
- ⑤ 予防接種の充実と接種率の向上
- ⑥ 子どもに関する難治性疾患治療及び先端医療の充実
- ⑦ 子どもに対する臓器移植の推進



5. 子育てに関する社会環境の整備

- ① 病児保育の充実
- ② 保育所、幼稚園への協力
- ③ 子育てサークルや子育てサロン等との連携と支援
- ④ 子育てをしている親の就労環境の整備
- ⑤ 子育てに専念している親への支援
- ⑥ 同じ年頃の子どもたち同士で遊べる環境の整備への支援
- ⑦ 虐待の予防と早期発見
- ⑧ 子どもの権利に関する条約に基づく環境整備



6. 学校保健の充実

- ① 生命を尊重する心を育む取り組み
- ② 性教育、性感染症予防対策の充実
- ③ 禁煙教育の推進
- ④ 生活習慣病対策
- ⑤ 心の問題への取り組み



7. 障害児への支援

- ① 医療的ケアの充実
- ② 長期入院障害児の後方ベッド確保の推進
- ③ 特別支援教育への協力

8. 政府等関係各方面への協力と働きかけ

- ① 産科医、小児科医、助産師の不足と偏在を解消する施策の推進
- ② 子ども心の診療医を育成するための施策の推進
- ③ 小児保健法(成育基本法)の制定
- ④ 妊娠・出産・子育てに対する税制の優遇



子育て支援フォーラム in 鹿児島

～未来を担う子ども達のために～

つないだ手から描く未来



児童虐待は依然として増加傾向が続き、大きな社会問題となっております。

特に死亡児の低年齢化、中でもゼロ歳児に集中していることが明らかになり、虐待による子どもの死亡を予防するためには従来の早期発見・早期対応に加え、その発生を予防する取り組みが必要です。次世代の健全な育成という視点から、一般市民等を対象としたフォーラムを開催します。

イラスト 小幡菜摘
2016年度 オレンジリボン運動
公式ポスターコンテスト
SBI子ども希望財団賞受賞作品

参加費無料

先着
300名

日 時

平成28年
11月27日(日)
13:00-16:00

場 所

鹿児島県医師会館
4階大ホール

※事前のお申し込みで託児施設(定員10名)がご利用いただけます。
[託児施設申込締切:平成28年11月11日(金)必着]

主
催

公益社団法人日本医師会
公益財団法人SBI子ども希望財団
公益社団法人鹿児島県医師会

後
援

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本小児科医会、鹿児島県、鹿児島市、鹿児島県教育委員会、鹿児島市教育委員会、鹿児島県中央児童相談所、鹿児島県学校保健会、鹿児島県産婦人科医会、鹿児島県小児科医会、鹿児島県歯科医師会、鹿児島県薬剤師会、鹿児島県看護協会、鹿児島県助産師会、鹿児島県PTA連合会、鹿児島県保育連合会、鹿児島県私立幼稚園協会、鹿児島県子ども会育成連絡協議会、南日本新聞社、全国児童養護施設協議会、全国母子生活支援施設協議会、全国乳児福祉協議会

参加ご希望の方は、裏面の申込書にご記入の上、郵便またはFAXにてお申し込みください。

子育て支援フォーラム in 鹿児島 ～ 未来を担う子ども達のために ～

日時：平成28年11月27日(日)
13:00～16:00

場所：鹿児島県医師会館 4階大ホール

〒890-0053 鹿児島市中央町8番地1

TEL:099-254-8121

HP: <http://www.kagoshima.med.or.jp/>

◆「JR鹿児島中央駅」下車徒歩7分。

◆「市電鹿児島中央駅前電停」下車徒歩5分。

※駐車場はありません。最寄りの有料駐車場をご利用ください。



プログラム

司会：鹿島 直子 (鹿児島県医師会常任理事)

1. 開 会 13:00

2. 挨拶 13:00～13:10

横倉 義武 (日本医師会会長)、池田 琢哉 (鹿児島県医師会会長)

3. シンポジウム 13:10～14:50

座 長：温泉川 梅代 (日本医師会常任理事)、鹿島 直子 (鹿児島県医師会常任理事)

(1) 井上 登生 (医療法人井上小児科医院(大分県中津市)院長／日本小児精神神経学会代議員)
「取り組みもう！医療・保健・福祉による効果的な虐待予防
～妊娠期からの切れ目のない支援を目指して～」

(2) 加賀美 尤祥 (社会福祉法人山梨立正光生園理事長／山梨県立大学人間福祉学部特任教授)
「今日の子ども家庭と社会的養護の現状・課題」

(3) 増田 彰則 (医療法人増田クリニック院長)
「子どもの脳を守る－睡眠不足とネット・ゲーム・スマホ使用の現状と問題点－」

(4) 池田 琢哉 (社会医療法人童仁会池田病院院長／鹿児島県医師会会長)
「未来を担う子ども達のために－小児科医の立場から－」

4. 作文発表 15:00～15:10

「家族のためがんばる」鹿児島市立宇宿小学校6年 横井 里恵

5. 討 議 15:10～15:55

6. 閉 会 15:55～16:00

田淵 義久 (SBI子ども希望財団理事長)

参加ご希望の方は、この申込書にご記入の上、郵便または FAX にてお申し込みください。

➡ はがき・Eメールによる
申込みも受け付けております。

はがき・Eメールには必ず 1. 郵便番号 2. 住所 3. 氏名
4. 電話・FAX 番号を忘れずにご記入の上、お送りください。

申込締切：平成28年11月18日(金)必着

※託児施設申込締切：平成28年11月11日(金)必着

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

※参加確定者の発表は参加票の発送をもって代えさせていただきます。

※フォーラム当日は、参加票を忘れずにお持ちください。

郵 送

〒890-0053

鹿児島県鹿児島市中央町8番地の1

鹿児島県医師会 地域保健課

FAX

099-254-8129

E-mail

gyakutai@po.med.or.jp

HP

<http://www.med.or.jp>

お問い合わせ／03-3942-8181 (日本医師会地域医療第3課)

参加申込書

子育て支援フォーラム in 鹿児島

～ 未来を担う子ども達のために ～

[平成28年11月27日(日)開催]

住 所	〒	—	託児施設のご利用	有・無
氏 名	電話番号	—	託児人数	／ 託児年齢
	FAX	—	男児	人 / 才
		—	女児	人 / 才
住 所	〒	—	託児施設のご利用	有・無
氏 名	電話番号	—	託児人数	／ 託児年齢
	FAX	—	男児	人 / 才
		—	女児	人 / 才

※ボールペンでご記入ください。※参加希望者の個人情報は、第三者に提供することはありません。

※電話番号は常時連絡可能な番号を記載ください。

※3名以上の参加ご希望の方は、この用紙をコピーしてお申し込みください。

↓ FAX 送信 099-254-8129 ↓